



# BUSINESS REPORT

第61期 株主通信

2019年4月1日 ~ 2020年3月31日

TOKYO KIHQ

証券コード：7597



代表取締役社長 **政木喜仁**

## 株主の皆様へ

株主の皆様には、日頃は格別のご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

ここに当社第61期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）における事業の概況を取りまとめましたので、ご報告を申し上げます。今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

## 当期の概要 Review of Operation

当事業年度におけるわが国経済は、第3四半期までは企業収益や雇用・所得環境の改善が持続するなど景気は緩やかな回復基調が持続しておりました。しかし、昨年末に中国・武漢にて発生した新型コロナウイルス感染症の世界的拡散によりパンデミックを引き起こし、わが国経済のみならず世界経済においても減速局面に入っております。

宝飾業界におきましても、新型コロナウイルス感染症の影響は甚大なものがあります。

当社においても、第3四半期における消費税率引き上げ及び台風による集客減に加え、新型コロナウイルス感染症の影響による売上の低迷が甚だしく、催事販売を営業活動の主力とする当社の業績は大きく落ち込むこととなりました。自社主催・取引先主催のイベントは軒並み中止となり、開催できた催事においても集客は大きく落ち込んでしまい売上は

前年を下回る結果となりました。

利益面においては、催事の中止に伴い経費もいくらか減少致しましたが、固定経費を上回る収益を確保するに至らず営業利益、経常利益ともに損失となりました。当期純利益は、元代表取締役による不適切取引に対する和解交渉が決着し、第3四半期において受取損害賠償金240百万円を特別利益として計上したことにより、前期を大きく上回る利益を計上することとなりました。

その結果、売上高4,344百万円（前期比6.1%減）、営業損失55百万円（前期は21百万円の営業利益）、経常損失28百万円（前期は82百万円の経常利益）、当期純利益165百万円（前期は24百万円の当期純損失）となりました。

## 心から心へジュエリーでつなぐ豊かな未来

東京貴宝は、経済的な豊かさだけでは決して得られない「夢や感動や癒し」を求める心をジュエリーという形に表現してお客様につないでいくことが使命と考えております。

ジュエリーは生活必需品ではありませんが、単なる形としての美しさだけではなく、お客様の思いや歴史や物語が投影されて、その人の人生に潤いと豊かさをもたらすものだと信じております。

東京貴宝は、ダイヤモンドジュエリー、カラーストーンジュエリー、パールジュエリーなどフルアイテムを提供できるジュエリー総合商社としての役割を担いつつ、オリジナリティ豊かでハイクオリティなジュエリー開発に邁進しております。

東京貴宝は、原材料の仕入からジュエリーを身に着けてくれるお客様まですべての段階で、すべての人々が幸せと感じられるような企業を目指しています。

### 次期の見通し Forecast

次期の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症による景気低迷が顕著になる中、ジュエリー業界にとっても深刻な状況を招くのではないかと懸念しております。

このような状況の中、催事販売を営業の主力とする当社にとって、新型コロナウイルス感染症対策の一環としてのイベント自粛のような事態が長期化した場合、大きく業績を押し下げることとなります。しかしながら、全国的な経済活動が再開された場合には、お取引先様と共に催事への集客を図るとともに、付加価値の高い商品開発やコスト低減により採算性を重視した取り組みを行って参ります。

また、不動産賃貸取引については、従来、「投資不動産賃貸料」は営業外収益、「不動産賃貸原価」は営業外費用として計上しておりましたが、賃貸収入も安定的な収入源の一つであるとの認識のもと、不動産賃貸事業を主たる事業と位置

づけ、事業運営の実態を適切に表示するため、翌事業年度より「投資不動産賃貸料」は「売上高」、「不動産賃貸原価」は「売上原価」として、それぞれ表示する方法に変更する予定となっております。

現段階において、新型コロナウイルス感染拡大による当社業績への影響度合いの算定が非常に困難であることから、2021年3月期の業績見通しを開示しておりません。今後、業績への影響を慎重に見極めて、合理的な業績予想の算定が可能となった段階で速やかに開示する予定であります。

なお、次期の剰余金の配当につきましては、適切な内部留保を確保した上で、株主還元を重視し、当期同様、通期で1株当たり80円（中間配当40円、期末配当40円）とさせていただきます。





「奇跡（輝石）との出会いから生まれる  
未来（夢）の実現」「エクレブ—ECREVE—」は、  
輝き【eclat】と夢【reve】に想いを込めたブランドです。



さくらダイヤモンド。  
それは和の心とヨーロッパのモダニズムの融合を  
コンセプトに開花した美意識の結晶。



LUCCIOLA



女優・夏樹陽子デザインのブランド。  
ルシオラとはイタリア語、ラテン語で蛍を意味します。  
これは以前夏樹さんが夢の中で見た無数の蛍の光が  
すべてダイヤモンドだったことに、  
強烈な印象と言葉では言い表せない幻想的なイメージを  
受けたことに由来してブランド名としました。



*Asplendi*

“日常の中の小さな非日常”をテーマに  
大人の女性の遊び心を満足させる  
ジュエリーを提案するアスプレнди。  
さりげなくも大胆な“ピンキーリングコレクション”は、  
アスプレндиの代表作です。

### 貸借対照表 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (第61期) 2020年3月31日現在	前期 (第60期) 2019年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
流動資産	4,749	4,881
固定資産	2,018	2,086
有形固定資産	394	390
無形固定資産	9	11
投資その他の資産	1,614	1,684
<b>資産合計 POINT 1</b>	<b>6,767</b>	6,967
<b>負債の部</b>		
流動負債	2,578	2,556
固定負債	897	1,184
<b>負債合計</b>	<b>3,476</b>	3,740
<b>純資産の部</b>		
株主資本	3,292	3,219
資本金	636	636
資本剰余金	504	504
利益剰余金	2,236	2,106
自己株式	△ 84	△ 27
その他有価証券評価差額金	△ 1	7
<b>純資産合計</b>	<b>3,290</b>	3,226
<b>負債純資産合計 POINT 2</b>	<b>6,767</b>	6,967

### 損益計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (第61期) 自2019年4月 1 日 至2020年3月31日	前期 (第60期) 自2018年4月 1 日 至2019年3月31日
売上高	4,344	4,626
売上原価	3,010	3,125
売上総利益	1,334	1,501
返品調整引当金戻入額	1	1
返品調整引当金繰入額	1	1
差引売上総利益	1,334	1,501
販売費及び一般管理費	1,389	1,480
営業利益 (△は損失)	△ 55	21
営業外収益	166	175
営業外費用	139	114
経常利益 (△は損失)	△ 28	82
特別利益	242	6
特別損失	15	111
税引前当期純利益 (△は損失)	198	△ 22
法人税、住民税及び事業税	9	3
法人税等調整額	23	△ 2
当期純利益 (△は損失) POINT 3	165	△ 24

### キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位: 百万円)

科 目	当期 (第61期) 自2019年4月 1 日 至2020年3月31日	前期 (第60期) 自2018年4月 1 日 至2019年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	276	△ 208
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 33	57
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 213	93
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	29	△ 58
現金及び現金同等物の期首残高	397	455
現金及び現金同等物の期末残高	427	397

## 決算のポイント

## POINT 1 資産

総資産は、前期末と比べ200百万円(2.9%)減少し6,767百万円となりました。主な変動内訳は、現金及び預金の増加59百万円、受取手形の減少102百万円、売掛金の減少36百万円、長期貸付金の減少25百万円等であります。

## POINT 2 負債純資産

負債合計は、前期末と比べ264百万円(7.1%)減少し3,476百万円となりました。主な変動内訳は、1年内返済予定の長期借入金の増加102百万円、長期借入金の減少256百万円、買掛金の減少101百万円等であります。

また、純資産合計は、前期末と比べ63百万円(2.0%)増加し3,290百万円となりました。主な変動内訳は、利益剰余金の増加129百万円、自己株式の増加56百万円等によるものです。

## POINT 3 当期純利益

消費税率引き上げによる集客減に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により売上高、営業利益、経常利益は前期を下回りました。当期純利益は、元代表取締役による不適切取引に対する和解交渉が着し受取損害賠償金240百万円を特別利益として計上したことにより、前期を大きく上回りました。

その結果、売上高4,344百万円(前期比6.1%減)、営業損失55百万円(前期は21百万円の営業利益)、経常損失28百万円(前期は82百万円の経常利益)、当期純利益165百万円(前期は24百万円の当期純損失)となりました。

## 株式の状況

(2020年3月31日現在)

- ◆ 発行可能株式総数 1,311,000株
- ◆ 発行済株式数 420,111株  
(自己株式27,745株を除く)
- ◆ 株主数 250名
- ◆ 大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
政木喜三郎	43,887	10.5
政和商事株式会社	33,779	8.0
有限会社ケイ・エム商事	30,000	7.1
東京貴宝取引先持株会	29,400	7.0
有限会社ウラケイパール	16,500	3.9
株式会社古屋	15,700	3.7
さが美グループホールディングス株式会社	15,400	3.7
政木喜仁	15,400	3.7
政木ふじ江	14,238	3.4
株式会社桑山	13,200	3.1

(注) 持株比率は、自己株式(27,745株)を控除して計算しております。

## 役員の状況

(2020年6月25日現在)

代表取締役社長	政 木 喜 仁
取締役	政 木 喜三郎
取締役	染 未良生
取締役	染 谷 和 行
社外取締役	嘉 村 孝
常勤監査役	石 河 正 晴
監査役	矢 田 慶 來
監査役	富 所 淳

## 会社の概要

(2020年3月31日現在)

- ◆ 社名 東京貴宝株式会社
- ◆ 設立 1960年11月
- ◆ 所在地 **【本社】** 〒110-0015 東京都台東区東上野1-26-2  
TEL 03-3834-6262 (代表)  
**【大阪営業所】** 〒542-0081 大阪市中央区南船場3-7-30 菅田ビル  
TEL 06-6252-7838 (代表)
- ◆ 資本金 6億3,660万円
- ◆ 事業内容 貴金属宝飾品の企画、製造、輸入および卸売業
- ◆ 従業員数 94名
- ◆ 子会社 TOKYO KIHU OVERSEAS (HK) LIMITED
- ◆ URL <http://www.tokyokiho.com>

## 株主還元について

当社は株主に対する利益還元を最優先課題と認識しております。今後の経営環境および業績等を勘案しつつ株主還元を重視し、継続的な安定配当を行うことを基本といたしております。適切な内部留保を確保した上で、株主に対する積極的な利益還元に努めて参ります。

# Stock Holders Memo

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
期末配当金	毎年3月31日における最終の株主名簿に記録された株主様にお支払いいたします。
中間配当金	取締役会の決議により中間配当を実施する場合、毎年9月30日における最終の株主名簿に記録された株主様にお支払いいたします。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	同上
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  TEL 0120-232-711 (通話料無料) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日除く)
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)
公告の方法	電子公告 当公司公告につきましては、下記ホームページに掲載いたします。ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。 <a href="http://www.tokyokiho.com/kessan.html">http://www.tokyokiho.com/kessan.html</a>
【ご注意】	<ol style="list-style-type: none"><li>株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱い出来ませんのでご注意ください。</li><li>特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。</li><li>未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。</li></ol>